

令和7年度

「運営に関する計画」

最終評価



大阪市立宝栄小学校

### 現状と課題

本校では、「学びあう、心を見つめ合う、たくましい児童を育てる」を目標とし、一人一人の子どもにとっての安心・安全な居場所、活躍の場を作るとともに、子どもたちが生き生きと楽しんで考えや思いを伝えあうことができることを目指して研究・実践を進めている。

例年、不登校や学級に入れない児童で、これまでと違って友達関係に起因するものが複数あがっている。学級でのトラブル処理をどうするかが問われるものとする。不登校やいじめ事案に関して、今回の運営に関する計画の最終反省にて確認する。

昨年度は、「学級力調査」に取り組み、自分たちの学級がどのような状況なのかを見える化したうえで、より良い学級づくりについて考えることができた。人間関係がこじれて学級に入れない状況を生まないためにも、自分たちの学級がどういう状況であるのかを意識し、より良い集団を育成できるよう取り組みを実施していく。

授業の中で対話ができる場を作ることで、自分の意見を言ったり友だちの意見を聞いたりすることができるようになった。今年度も「伝え合う力」を育てるため、自分の思いや考えを、正しい言葉で豊かに表現できるよう研究を進めていく。基礎学力の定着のため、2学年において漢字検定の団体受験を行う。さらに、自主学習環境を整えることで、学習意欲の向上を図り本校児童の学習課題を克服する。

### 本校の課題解決に向けた取り組みの重点

#### (1) 安全・安心な教育の推進

だれもが安心できる学級集団づくり

- 日常的に取り組むこと（異学年交流、いいところみつけなど）
- トピック的に取り組むこと（イベント、いじめを考える日など）
- PBS（ポジティブ行動支援）に基づいた支援
- アサーショントレーニングに代表される言い方や方法論を重視した指導

#### (2) 未来を切り開く学力・体力の向上

自ら問いを発し、解決していこうとする学習活動の創造

- 家庭学習の定着、自主学習の推奨
- 外部講師の招聘
- ICT 機器の有効な活用
- 体育学習での多様な運動に取り組む

#### (3) 学びを支える教育環境の充実

教育 DX の推進 教員の働き方改革 生涯学習の支援

- 一人一台 PC の日常的な使い方を創造する
- 会議の精選と時間短縮（ペーパーレス化の追求）
- 読書への興味を高める環境整備

評価基準	A:目標を上回って達成した	:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標 〈安心・安全な教育の推進〉	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「いじめについて考える日」や道徳の学習を通して、いじめについて認識を深める取り組みをする。</li> <li>○ いじめが起こりにくい学級集団づくりに取り組み、いじめアンケート等でいじめを把握した際は迅速に対応する。</li> </ul>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を87%以上にする。（昨年度 86.4%）</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>自尊感情、自己肯定感</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学級の取り組み、学校行事、異学年交流を通して自尊感情や自己肯定感を育む。</li> <li>○ PBS(ポジティブ行動支援)に基づき、望ましい行動を育てる集団を育成する。</li> </ul>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。（昨年度 82.7%）</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の結果と分析
<p><b>取組内容① いじめ</b></p> <p>・小学校学力経年調査における「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童の割合は、87.4%で目標を達成した。肯定的に回答をした児童の割合でみると、96.5%となった。また、学校生活アンケートにおいて、「いじめはいけない」の項目に対し、最も肯定的な「そう思う」と回答した児童の割合は、88.3%となり、肯定的に回答した児童の割合でみると、99%(昨年度98.7%)で高い水準であった。いじめについて考える日の全校児童への講話や道徳の学習を通して、いじめの認識を深める取り組みを各学年、各学級で継続して行ってきた結果いじめについての理解が深まった。</p> <p><b>取組内容② 自尊感情、自己肯定感</b></p> <p>・各学級で自尊感情や自己肯定感を育む活動を行ったり、それらを教職員で共有する場を設けたりしてきた。ふれあい遠足や宝栄フェスティバル、集会活動などのたてわり班活動も取り入れ、異学年交流を深めてきた。小学校経年調査における「自分には良いところがあると思いますか」に対し、肯定的に回答した児童の割合は、87.8%で目標を達成した。また、学校生活アンケートにおいて「自分には良いところがある。」の項目では、肯定的に回答した児童の割合は89.6%であった。それぞれが活躍する場を設け、自信をもったり周囲の友だちに認められたりすることで自己肯定感が高まった。</p>

<p>・月目標とつなげつつ PBS 週間を設けた。PBS週間では、月目標を達成したら学年掲示の木にシールを貼り、シールの集計をもとに代表委員が賞状を作成し各学年に渡していくという活動を行ってきた。それらの活動を通して望ましい行動を意識させることができ、子どもたちの意欲にも繋がった。</p>	
<p>次年度への改善点</p>	
<p><b>取組内容① いじめ</b>          ・いじめについての理解を深められるよう、道徳の学習や日々の生活の中で機会を逃さず指導を継続していく。また、いじめアンケート、心の天気やスクールライフの相談機能など児童のサインを見逃さず、いじめが起きない学級運営、学校運営に取り組んでいく。</p> <p><b>取組内容② 自尊感情、自己肯定感</b>          ・学級での取り組みを紹介し、共有する機会をさらに設ける。          ・PBS活動を次年度も継続し、学校目標を土台とした取り組みを増やしていく。</p>	
<p>「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標          〈未来を切り拓く学力・体力の向上〉</p>	<p>進捗          状況</p>
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】          主体的、対話的で深い学びをめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 研究授業、研修会を積極的に実施し、個別最適な学びの在り方、協働学習により学びを深める指導に取り組む。</li> <li>○ 自主学習を奨励し、週に1回、自主学習に取り組む。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を40%以上にする。</li> <li>・ (昨年度 35.1%)</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向5 健やかな体の育成】          基礎体力の向上につなげる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動用具を精選し、児童が夢中で遊ぶことができる環境づくりを行い、運動が楽しいと思える児童を育成する。</li> <li>○ 様々な種目・運動を紹介し意欲的に取り組める体育学習を工夫する。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。(昨年度 70.2%)</li> </ul>	
<p>年度目標の達成状況や取組の結果と分析</p>	

取組内容① 主体的、対話的で深い学びをめざす

- ・小学校経年調査における「話し合い活動を通じて考えを深めたり広げたりできている」と最も肯定的に回答した児童の割合は、44%で目標を達成した。58.3%と大きく目標を上回る学年もあり、話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができた。
- ・1学期に研究授業に向けた研修会を充実させ、2学期以降は月1回のペースで計画的に研究授業を実施してきた。研究授業、討議会を重ねる中で「個別最適な学びと協働的な学び」の充実とICT利活用への意識が学校全体で高まってきた。また、1年生は2学期から自主学習の取り組みが本格的に開始され、各学年で自主学習を推進している。

取組内容② 基礎体力の向上につなげる

- ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、70.5%でわずかに目標に届かなかった。高学年になるほど、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合が減っていく傾向にある。
- ・今年度はボール遊びとその他の遊びで運動場を二分割することで危険が少なく遊びやすい環境づくりに取り組んだ。遊びやすさが向上しより安心して遊べる環境となった。

次年度への改善点

取組内容① 主体的、対話的で深い学びをめざす

- ・小学校経年調査における「話し合い活動を通じて考えを深めたり広げたりできている」と最も肯定的に回答した児童の割合は、目標値40%以上に達したが、見方を変えると未だ半数以上の児童が話し合い活動で自分の考えが「補充・深化・統合」できていると感じることができていない。話し合い活動の意義や目的を再提示する必要がある。
- ・授業者が「個別最適な学びと協働的な学びの一体化の充実」について、研究科目以外において汎用的に活用していく。また、研究テーマに関するフィードバックを行い次年度に引き継ぐことで、さらなる授業改善の足掛かりとする。

取組内容② 基礎体力の向上につなげる

- ・様々な運動を紹介し体験できる場を休み時間を活用して設けることで、まだ体験したことのないスポーツに出会う機会を増やしたり、苦手としていたスポーツに挑戦できるようにしたりすることで運動への関心や挑戦する意欲を高めていく。

「大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標〈学びを支える教育環境の充実〉	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 ICTの活用 ○ デジタル教科書、ワークシートの作成・提出、調べ学習など児童が学習端末を使用しやすい環境を整備する。 ○ 各教科の学習を通して情報活用能力、情報モラル等の育成を図る。 ----- 指標 ・ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業の50%以上にする。[学校行事等ICT活用が適さない日数を除く]	C
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方改革	B

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 会議の精選と時間短縮、ペーパーレス化の追求</li> <li>○ 勤務時間のフレキシブル化を図る</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（時間外勤務が1か月で45時間以内、年間で360時間超えない）を満たす教職員の割合を77%以上にする</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <p>読書力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書時間を確保し、読書習慣を身につけさせる。</li> <li>○ 読書への興味を高める環境整備を行う。</li> </ul>	
<hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校学力経年調査における「学校の授業時間以外にふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、まん画や雑誌は除く）」に対して「全くしない」と回答する児童の割合を25%以下にする。（昨年度28.1%）</li> </ul>	B

年度目標の達成状況や取組の結果と分析

**取組内容①ICTの活用**

・効率よくデジタル教科書を活用し授業を行っている。低学年では、スカイメニューの発表ノートで自分の考えを共有したり、オンラインゴグトレで認知機能を高めたりする学習に取り組んだ。高学年では、Teams や Google のクラスルームを活用し連絡帳の配信を行ったり、navima の AI デジタルドリルやまなゲー、漢字でGO などを使用したりして自分の進度にあった学びの実現に取り組んだ。また、話し合いツールや Google スライドを活用し、自分の考えを友だちと共有したりして協同的な学びに活かしてきた。しかし、まだまだパソコンの操作に慣れていない児童もおり、それらの活用に時間がかかってしまい、学びを深めるところにまでは達していない。年間達成率は20.9%となり昨年度の3.4%よりは上昇している。

**取組内容②働き方改革**

・職員会議等では、資料を事前に各職員に提示して目を通してもらうことで、説明の重複を避け時間短縮を図ることができた。Teams 掲示板、SKIP 掲示板の活用により会議回数、時間の削減に努めた。12月末時点での時間外勤務「上限に関する基準1」の達成率は76.92%（昨年度76.0%）で、目標の77%に対して0.08%足りていなかった。引き続き時間外勤務の削減に努めていく。

**取組内容③読書力の向上**

・小学校経年調査における「学校の授業時間以外にふだん、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」に対して「全くしない」と答えた児童の割合は、21.7%で目標の25%以下となり目標は達成できた。しかしながら、学年別で見ると27.9%と目標値を超えている学年もあり、学年が上がるにつれて、この割合は増加傾向にある。

・委員会の活動では、読書週間を設定し図書委員が作った絵本や本の帯を掲示したり、ビンゴカードを作ったりして児童が図書室に来るきっかけを工夫するなどの取り組みを行った。また、読書ボランティアの読み聞かせや読書手帳の活用、廊下にブックカート設置し、児童の年齢にあった本を置くなど、より児童が読書への興味をもてるよう環境整備を行った。

## 次年度への改善点

### 取組内容①ICTの活用

・目標数値には、まだ届いていないが年間達成率は確実に上昇してきているので引き続き活用を行っていく。児童がよりパソコン操作に慣れることができるよう、朝学習や隙間時間を使って使用頻度を上げていく。また、ICT 教員を中心にスカイメニューの発表ノート、Teams や Google のクラスルーム、Google スライド等、学習で活用するソフトやアプリの基本的な操作の研修を行い、活用を促していく。

### 取組内容②働き方改革

・引き続き超過勤務時間の削減に努めていく。ゆとりの日の退勤時刻の厳守など、学校全体で超過勤務時間の削減に向け、教職員の意識を高めていく。

### 取組内容③読書力の向上

・ブックトラックの本の入れ替えや量を増やし、手軽に本を取りやすい環境を充実させる。  
・引き続き図書委員会で、児童が読書に対して興味・関心をもてるような活動を行う(読みたい本のアンケートを取るなどして、児童が興味を引く本の購入につなげる。)